

米消費促進企画「#MK3(マジでコメ食う3秒前)」への農林水産省の協力について

○米消費拡大の機運を盛り上げるため、JA全農は、米消費促進企画「#MK3（マジでコメ食う3秒前）」を実施。

○農林水産省では、#MK3に協力し、ごはんの魅力をBUZZ MAFF動画等を通じて発信。金子農林水産大臣とBUZZ MAFF最大再生回数を誇るタガヤセキュウシュウとのコラボ動画も公開。

米消費促進企画「#MK3」とは

JA全農が米消費が期待される10代～30代をターゲットに、著名なYouTuberや声優を起用した「コメ食いたい！」を触発する動画の特設サイト等で公開し、視聴者にも「#MK3」動画をSNS上に投稿（「#MK3チャレンジ」）してもらうことにより、「コメ食いたい！」をムーブメントに発展させることを狙う企画。

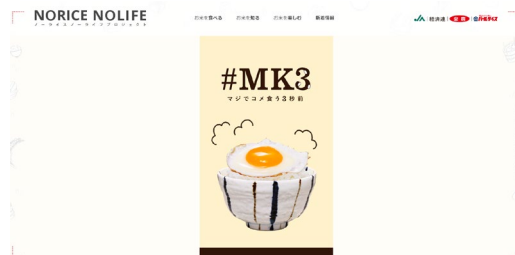


私が思う
究極のコメの食べ方はこれ！

ごはんの上に...
3.卵
2.ネギ
1.ごま油
で、#究極のTKGの完成！！
これはお米すぐなくなるから！
#MK3チャレンジ
#マジで米食う3秒前



「#MK3チャレンジ」



特設ページ
「#MK3（マジでコメ食う3秒前）」

金子農林水産大臣出演動画

動画公開後、数日で4万回以上再生されており、好評。コメント欄には、米の消費に対するポジティブな意見が寄せられている。



BUZZ MAFF動画「大臣は動画に出てくれるのか？」



金子大臣のイラストを使用した紙芝居により、米消費促進企画「#MK3」の取組や米消費拡大が必要とされている理由などを説明。

産地と中食・外食事業者等の米マッチングについて

- 全国農業再生推進機構等は、農林水産省の支援の下、中食・外食向けニーズに応じた安定取引の推進のため、商談会を開催。
- 令和2年度開催の「米マッチングフェア2020」では、オンラインでの商談会を実施し、売り手（JA、農業生産法人等）121団体、買い手（中食・外食事業者等の実需者）306社が参加。
- 令和3年度は、業務用米マッチングサイトを新たに構築するとともに、現地商談会を全国9ヶ所（岩手、秋田、山形、福島、新潟（2ヶ所）、埼玉、大阪、岡山）で開催。

米マッチングフェア2021 パンフレット



業務用米マッチングサイトの構築



米マッチングフェア2020 開催状況



オンライン商談会の様子(2/9)



オンラインセミナーの様子(2/16)

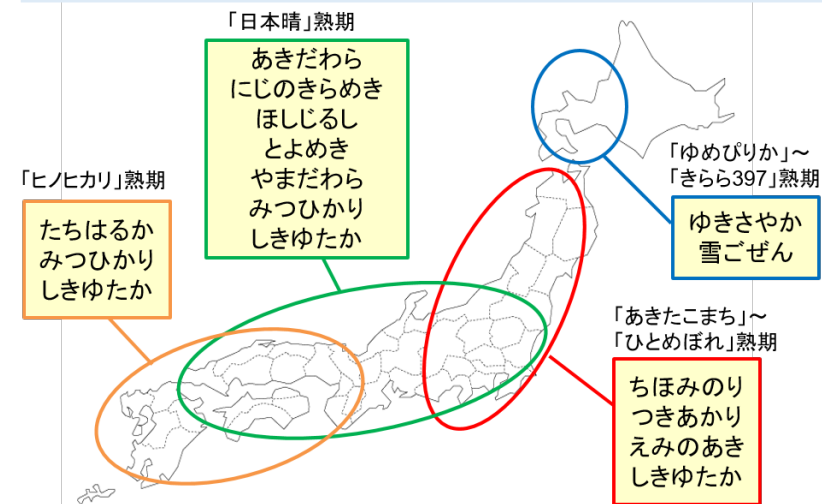
マッチング商談事例

①関東の生産法人が、健康食品のメーカーと、発芽玄米の原料として、400トンの契約栽培が決定。

②東北の生産法人が愛知県に本部のあるステーキレストランチェーンと業務用途米「めんこいな」の契約栽培を開始。

中食・外食向け米の多収品種

多収で良食味の中食・外食向け品種の栽培適地



民間企業が開発した多収品種の例

「みつひかり」

三井化学アグロ(株)

- 一般品種との作期分散に有効な良食味品種。
関東以西に対応。
収穫が遅れても品質劣化が少なく、「刈り遅れ」の心配が少ない。

「しきゆたか(ハイブリッドとうごうシリーズ)」

豊田通商(株)

- 多収性に優れる耐倒伏性の良食味品種。
うるち、半モチの2種類があり、4系統で北海道を除く各地に対応。

「つくばSDシリーズ」

住友化学(株)

- 短幹で倒れにくい、多収の良食味品種。
コシヒカリの血を引き、3系統で南東北以南の全国各地に対応。

農研機構が開発した多収品種の例

北海道向け「雪ごぜん」

- やや高アミロース・低タンパクの業務用多収米品種。
耐冷性に優れ、冷害年でも収量が安定する。

東北以南向け「ちほみのり」

- 多収で直播栽培向きの良食味品種。
炊飯米の光沢、粘りとも「あきたこまち」並の良質、良食味。

東北中北部以南向け「えみのあき」

- いもち病に強く、良食味の直播用品種。
倒れにくく、葉いもち、穂いもちとも極めて強い。

関東・北陸以南向け「あきだわら」

- 「コシヒカリ」より多収で、「コシヒカリ」に近い良食味品種。
生育が「コシヒカリ」より遅く、作期分散が可能。

関東・北陸以南向け「にじのきらめき」

- 大粒で業務用に適する多収の極良食味品種。
高温耐性に優れ、縞葉枯病に抵抗性。

西日本・九州向け「たちはるか」

- 耐倒伏性・耐病性を備えた低コスト直播栽培向き多収品種。
いもち病、縞葉枯病にも強い。

北海道向け「ゆきさやか」

- やや低アミロース・低タンパクで多収の極良食味品種。
耐冷性に優れ、比較的倒れにくい。

東北中南部以南向け「つきあかり」

- 早生で多収の極良食味品種。
ご飯はツヤがあり、うま味に優れ、4時間保温しても美味しさが持続。

関東・北陸以南向け「とよめき」

- 極多収で粘りが弱い早生の業務・加工用品種。
冷凍米飯等の加工用米としての利用に適している。

関東・北陸以南向け「やまだわら」

- 極多収で粘りが弱い中生の業務・加工用品種。
冷凍米飯等の加工用米としての利用に適している。

関東・北陸以南向け「ほしじるし」

- 二毛作向きで、「コシヒカリ」より多収の良食味品種。
倒れにくく、縞葉枯病に抵抗性。

上記品種の利用許諾や種苗入手先に関する問合せ
(国研)農研機構 知的財産部 知的財産課 種苗チーム
Tel 029-838-7390・7246 / Fax 029-838-8905
<http://www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/list/index.html>

生産コスト低減に向けた具体的な取組

- 担い手への農地集積・集約を加速化するとともに大規模経営に適合した省力栽培技術・品種の開発・導入を進め、産業界の努力も反映して農機具費等の生産資材費の低減を推進。

省力栽培技術の導入

直播栽培(育苗・田植えを省略)

(実証例)
労働時間
18.4時間/10a→13.8時間/10a
(移植) (直播)

費用(利子・地代は含まない)
103千円/10a→93千円/10a
(移植) (直播)



鉄コーティング種子

無人ヘリの活用も可能



スマート農業技術の活用

営農管理システムの導入等により、作業のムダを見つけて手順を改善

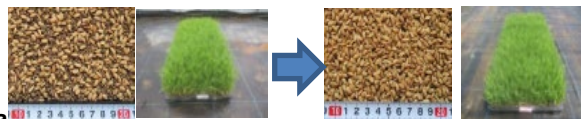
(実証例)
田植え作業時間
1.62時間/10a→1.15時間/10a
(補植作業時間の削減)

密苗栽培

育苗箱数を減らせるため、資材費の低減が可能。

苗継ぎも少なく省力的

(実証例) 育苗箱数 15~18箱/10a → 5~6箱/10a



大規模経営に適合した品種

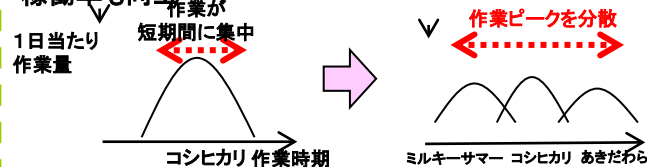
多収品種

単収
530kg/10a→700kg/10a
(全国平均) (多肥栽培で単収増)

生産費
16千円/60kg(全国平均)
→13千円/60kg(試算)

作期の異なる品種の組み合わせ

作期を分散することで、同じ人数で作付を拡大でき、機械稼働率も向上



担い手への農地集積・集約等

- 今後10年間(2023年まで)で全農地面積の8割を担い手に集積
 - 分散錯圃の解消
 - 農地の大区画化、汎用化

生産資材費の低減

農業生産資材価格の引下げ

- 生産資材業界の再編や法規制等の見直し
- 生産資材価格や取引条件等の「見える化」

農業機械の低コスト仕様

- 基本性能の絞り込み
- 耐久性の向上



⇒基本性能を絞った海外向けモデルの国内展開等
(標準モデル比2~3割の低価格化)

肥料コストの低減

- 土壌診断に基づく施肥量の適正化(肥料の自家配合等)、精密可変施肥

- フレキシブルコンテナの利用(機械化による省力化等)

⇒土壌改良資材のフレコン利用
(20kg袋比7%低価格化)



合理的な農業使用

- 発生予測による効果的かつ効率的防除
- 輪作体系や抵抗性品種の導入等の多様な手法を組み合わせた防除(IPM)
- ⇒化学農薬使用量抑制

未利用資源の活用

- 鶏糞焼却灰等の利用

⇒従来品比7%低価格化

